



2019年6月14日

各 位

会社名 株式会社 デイトナ
 代表者 代表取締役社長 織田哲司
 (証券コード 7228、東証 JASDAQ)
 問合せ先 取締役管理部長 杉村靖彦
 (TEL 0538-84-2200)

2019年12月期 第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年2月13日付当社「2019年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表しました2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)の第2四半期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせします。

記

1. 第2四半期業績予想の修正について

2019年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,882	181	180	116	49.60
今回修正予想(B)	4,076	327	325	209	89.16
増減額(B-A)	193	145	144	92	—
増減率(%)	5.0	79.7	80.0	79.6	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	3,958	262	248	164	70.34

2019年12月期 第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,140	105	73	31.36
今回修正予想(B)	2,290	210	147	62.71
増減額(B-A)	149	105	73	—
増減率(%)	7.0	100.0	99.9	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	2,214	160	109	46.85

2. 主な修正理由

2019年12月期第2四半期累計期間の業績予想につきまして、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、主に以下の理由により当初予想を上回る見込みであります。

当連結セグメントでの国内拠点卸売事業に属する株式会社デイトナにおいて、ゴールデンウィークに伴う特需およびゴールデンウィーク後も引き続き好調であったことから、売上が当初予想を上回る結果となりました。加えて、販売費及び一般管理費の削減を当初計画より順調に進められたことと為替レートが安定的に推移したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益に貢献し、業績予想を大きく上回る結果となりましたので、今回第2四半期累計業績予想を修正させていただきます。

2019年12月期通期の業績予想は、今後10月からの消費税増税等、景気不確定要素がございますので、業績予想に変更はございません。

※本資料には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。

また、当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

以上